



hot topics

## 新嘗祭に献上するお米の抜穂祭

9月23日、秋の宮中祭祀の「新嘗祭(にいなめさい)」に献上するお米と粟を収穫する「抜穂祭(ぬいぼさい)」が、上西鯉坂の水田で執り行われました。小郡市内の水田が福岡県の代表となるのは、統計が残っている昭和27年以降初めての事です。

当日、神職の祝詞に続き、献穀者の能塚智芳さん、筑後小郡良質米推進協議会の委員、早乙女姿の宝城中学校の生徒たちが、たわわに実った稲穂と粟を丁寧に刈り取り、収穫に感謝しました。



hot topics

## 新100歳の人に敬老記念品を贈呈

9月18日、敬老の日のお祝いとして令和5年度、100歳になる男性2人、女性15人へ加地市長からお祝い状や記念品が贈呈されました。

皆さんに「好きな食べ物は何ですか」と尋ねると、回答が多かったのはなんと「お肉」でした。

他にも長生きの秘訣や日々の生活に関して話を聞くことができ、皆さんの若々しい様子にたくさんのパワーをいただきました。100歳を迎えた皆さん、おめでとうございます。



hot topics

## コンクール最優秀作品が給食に

10月12日、立石小学校の調理員が考案し「令和5年度小郡市・三井郡学校給食料理コンクール」で、最優秀作品に選ばれた献立が学校給食として登場しました。

献立は「麦ご飯、鯉のから揚げうめえ〜ソース、七夕枝豆とひじきのマヨサラダ、豆乳タンタンスープ、小郡産小松菜としらすのふりかけ」です。地元の野菜を使い、アレルギーや好き嫌いも考慮し、食べやすい味付けにするなど工夫しています。

考案した<sup>ながたに</sup>長谷先生(写真左)は「食は一生関わるもの。毎日の給食を食べてもらい、子どもたちと触れあって直接「美味しかったよ!」の言葉があると、私たちの励みになります」と、笑顔で語ってくれました。



hot topics

## 小郡校区で小学生向け体験イベント開催

9月24日、小郡校区協働のまちづくり協議会がコロナ禍で子どもたちの体験する機会が少なくなったことを受け、仕事や昔遊びなど体験イベントを企画し「だいたいフェスタ2023」を初開催しました。

市内の専門学校や地元の協力で、聴診器で心音を聴く看護師体験や、マジパンで動物を作るパティシエ体験など8つのブースで子どもたちをお出迎え。約200人の小学生が来場し、人気ブースはすぐに予約で埋まるなど大盛況でした。

参加した小学生からは「難しかったけれど楽しかった」「将来に役立ちそう」など、多くの感想がありました。

